

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小嶺江藤病院増改築工事	階数	地上4F
建設地	福岡県北九州市八幡西区小嶺3丁目	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、風致地区	平均居住人員	105 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2016年8月18日
敷地面積	9,692 m ²	作成者	原田 奈那子
建築面積	1,158 m ²	確認日	2016年8月19日
延床面積	3,738 m ²	確認者	伊東 正太郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 89% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 89%

④上記+ 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> ・道路面からの圧迫感に配慮し、ポーチを大きな吹抜にした。 ・周囲との景観の調和やまちなみへの潤いを生み出すために敷地周囲に緑地を配置した。 		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> ・F☆☆☆☆建材を使用。 ・全館禁煙とし、施設内の空気質環境に配慮。 	<ul style="list-style-type: none"> ・階高にゆとりをもたせ、建物自由度を高めた。 ・設備系統はメンテナンスを考慮した計画とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内に緑地を設け、暑熱環境に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> ・施設に使用するガラスのほとんどをペアガラスを使用し、遮熱性を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・断熱材は全てノンフロン。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な数の駐車駐輪スペースを計画し、出入口付近での車両の軌跡検討を行い、周辺の交通負荷軽減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される